



自学・敬愛・誠実

# 三原の嶺より

## ◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和5年7月19日（令和5年度 第4号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校  
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

## 人の役に立つ

校長

7月4日（火）から6日（木）までの3日間、今年度も各事業所のご協力を得ながらキャリア教育の一環として職場体験学習を実施することができました。生徒たちは、実際に体験することで働くことの厳しさや大変さを知るとともに、楽しさややりがいに気付くなど、「仕事」のもつ両面についての重要な気付きをさせていただきました。このような貴重な体験ができるのも各事業所のご理解とご協力があったことです。その厚意に心より感謝申し上げますとともに、今後とも第一中学校の教育活動にご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、7月9日（日）生徒会主催の海浜清掃ボランティアが弘法浜で行われました。これは「ボランティア活動に力を入れたい」という生徒会の思いを実現したもので、生徒会で企画し、生徒に呼びかけ実施したものです。生徒会長からの説明の後、海辺のゴミを回収しましたが、燃えるゴミ、燃えないゴミを含め10袋（70ℓの袋）以上も回収することができました。二日前、生徒会が弘法浜へ実踏に行ったときには重機が入りきれいになっていたようですが、このゴミの様子を目の当たりにすると環境問題の深刻さを強く感じました。

以前、教育関係の記事に「進路学習、日本は豊か」という見出しで、日本とアメリカ、中国、韓国の高校生世代を比べた内容の記事がありました。これは国立青少年教育振興機構の調査で、高校生の進路と職業意識を明らかにしようと、4カ国の関係機関が時期を揃え継続的に実施したものです。「進路選択の方法」「職業の種類や内容」に関する学習の経験率では、日本が他の3カ国に比べ約20%から30%も多く、進路学習への充実度が伺えた結果となっていました。逆にボランティア活動を経験した割合については、他の3カ国に比べ日本はかなり低く「関心がある」と答えた割合も同じで、まずはボランティア活動の経験を増やしていくことが必要だと感じました。

ボランティアの語源は、ラテン語の「voluntas（意志）」からきています。意味は「自分の意思で自ら進んでやること」で、自発的な意思で人や社会に貢献するという奉仕の心です。つまり、「人の役に立つ」ということです。社会で生活するうえで、とても重要なことでもあります。また、身近な人が困っているときに手を貸してあげ、助けた人から「ありがとう」と言われた経験もあると思いますが、何とも言えない幸福感を味わったことがあるのではないのでしょうか。お礼を言われて嫌な気持ちになる人はいないはずです。人の役に立つといっても特別なことをしなければならないわけではなく身近で簡単なことで良いのではないのでしょうか。そういった人の役に立ちたいと思っていれば、数多くの人の役に立つ機会に出会うことができます。人の役に立ちたいと思い、社会の役に立つために働くことで仕事に対する重みも変わってくるのではないのでしょうか。

## 第2学年 職場体験学習 ～働くことの意義を理解し、職業に関する理解を深める～

7月4日（火）から6日（木）の3日間に、職場体験学習を実施しました。大島町の19の事業所にご協力いただき、地域の仕事を実際に体験させていただきました。

事前学習では、道徳や総合的な学習の時間で働く意義や職業調べ、マナー講座などの学習に取り組みました。2年生の多くの生徒が職場体験をとて楽しみにしており、当日は、緊張しながらも勤労の喜びや楽しみを感じながら、職場の方々から多くのことを学び取ろうとする姿勢が見られました。事後学習では、お礼状やまとめレポートを作成し、学びや感謝の思いが生徒それぞれの等身大の言葉で表現されていました。お礼状の言葉や職場体験以後の姿から、学校から離れていたわずか3日間の間に、子供たちの大きな成長を実感しています。

この経験は、生徒たちの今後の進路・職業選択だけではなく、学校内外の生活面など様々な場面で生かされていくと思います。

最後になりますが、ご協力いただきました地域の事業所の方々に心より感謝いたします。お忙しい中、貴重な学びの機会を与えてくださり、ありがとうございます。また、温かい目で見守り、励ましの声をかけていただきました保護者の皆様、地域の皆様にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

学年主任

### 生徒の声① 感じたこと・学んだこと

- ・働くことは大変なことだとマイナスイメージが強かったけど、楽しくてやりがいがあることがたくさんありました。
- ・一人一人の子供と真剣に向き合いながらも、全体の規律をしっかり守ることが大切だと学びました。
- ・裁判は一人でするものではなく、レーサーのようにいろいろな分担をしてチームで活動するということを知りました。
- ・職場体験でレジ打ちや品出しをしているときに、応援してもらえたことが印象に残っています。
- ・動物たちと一緒に過ごして、一匹一頭ずつに個性があり、それに合わせた対応やお世話の仕方があることを学びました。

### 生徒の声② 今後に生かしていきたいこと

- ・夢を一つに絞るのではなく、人と関わる仕事など広く考えていきたいです。
- ・焦ってしまうことが多かったので、落ち着いて行動したいです。
- ・地域にある資源を利用して染めるということは地球にも大島にも優しいことなので、資源を大切にしていきたいです。
- ・「嫌われないように」「勇気が出ない」などの自分の弱点が、大きな問題につながってしまうから、自分に甘えないようにしたいです。
- ・職場体験を通して自分の得意なことや苦手なことに気付けたので、将来の選択肢に生かしていきたいです。

## 体験中の様子



ベニヤ



Book Tea Bed



海のパン屋さん



さむかわ食資館



つぼき小学校



トリトン



ミルクセンター



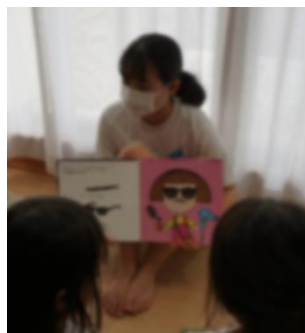
大島医療センター



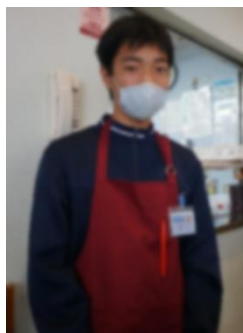
金太楼製菓



元町保育園



御神火温泉



大島町消防本部



大島町図書館



大島バス



東海汽船



大島公園動物園



北/山保育園



※都合により掲載を見送らせていただいた写真もございます。ご承知おきください。

## 道徳授業地区公開講座

### <1年生>大島の未来を考える

1年生では導入として『大島は好きか』『30年後に大島に住んでいたいかな』という質問をしました。質問に対して、はい、いいえのどちらかに自分の名前を貼らせました。大島は好きだけど、30年後住んではいないという人がほとんどでした。そこから、大島の課題である『人口減少』へと展開しました。中盤では『人口減少』『観光客減少』『第一次産業衰退』の3つについてグループで話し合い活動を行いました。そして後半では、クラスを2つに分け、3つの課題の中から『観光客減少』についての解決策を話し合いました。

今回の道徳のポイントは『課題解決型授業』であることです。道徳の目的は、他者や教材を通して自らの考えを深め、広げることです。そのため普段は、共通の答えを出すことは求めていません。しかし、今回は『自分たちの答え』を出すところまでを目標としています。そのため、より深い議論が必要とされます。最終的には大島の魅力を増やす（自然、三原山、食べ物）・インパクトのあるイベントを行い、その際にクーポン等も使えるようにする・水上アスレチック施設を作る（冬は温水を使用）などの意見が出されました。より深い議論ができるように、これからも考え・議論する道徳の実践を目指していきます。



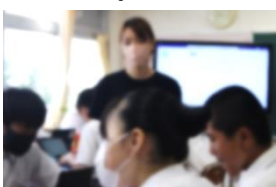
### <2年生>大島の未来を考える

2年生でも『大島は好きか』『30年後の大島に住んでいたいかな』という質問に対して、導入で意見を求めました。全員が「大島は好き」と答えるものの、30年後には「住んでいない」と答える生徒が多かったです。大島を題材にした記事を読み、大島が抱える3つの課題「人口減少」「観光客減」「第一次産業の衰退」について、自分で選んだ課題についてチームを分け、協議を行いました。生徒たちがあげた解決策を見ると、どの問題とも互いに関わり合っていて一筋縄では解決できないと実感できました。特に「観光客減」についてはリピーターの獲得に課題があることも実感しており、椿祭りの活性化について再度グループワークを行いました。2年生からは日頃から大島への愛を感じます。大島の未来を支える人として成長してくれるように今後も教育活動に尽力していきます。



### <3年生>一中サミット

5月の進路講演会に引き続き、大島牛乳株式会社社長の柳瀬聡子さんにお越しいただき、第2回一中サミットを開催しました。大島はかつて「東洋のホルスタイン島」と呼ばれるほど酪農が盛んな時代がありましたが、戦後の輸入自由化や大手メーカーとの価格競争により低迷し、会社の存続が危ぶまれたこともあったようです。現在、大島牛乳では若い世代に代替わりをし、牛乳を製造しています。今回はそんな大島の伝統産業である大島牛乳を、より多くの人に店頭で手に取ってもらうために、大島牛乳のホームページを考える班と、大島牛乳を更に美味しく味わうためのレシピを考案する班に分かれて活動しました。どの班も活発に意見交換が行われ、ホームページのレイアウトや大島牛乳のキャッチコピー、レシピを牛乳パックの形のカードに印刷するなど、たくさんのアイデアが出ました。考えたことをスライドにまとめ、柳瀬社長に見ていただきましたが、中学生の柔軟な発想に感心していました。郷土大島について、更に考えが深まる時間となりました。



## ～生徒会活動報告～

### ★海浜清掃ボランティア

7月9日(日)に生徒会本部主催の海浜清掃ボランティアを実施しました。生徒会本部では毎年ボランティア活動の一環として、弘法浜の海浜清掃ボランティアを企画していましたが、天候の影響や町のイベントとの兼ね合いにより中止が続いていました。今年度は天候に恵まれ無事開催することができ、40名近い生徒が集まりました。生徒会本部による説明の後、学年に分かれてごみ拾いを行いました。海岸にはペットボトルや発泡スチロール、ビン、缶など様々な種類のごみが落ちていました。観光客が投棄したごみだけでなく、中国語などが書かれた海外から流れ着いたと思われるペットボトルなどもたくさん落ちていました。30分間という短い時間の活動でしたが、全員が積極的にごみ拾いを行い、70Lのごみ袋で10袋以上のごみを集めることができました。弘法浜は普段、海水浴を楽しむ人も多い身近な海岸ですが、今回のごみ拾いを通して豊かな自然を自分たちの手で守っていくというボランティアの精神の育成にもつながったと思います。これからも自分たちの手で大島の豊かな自然を守っていきましょう。



### ★シャッフル清掃

7月10日(月)、11日(火)、14日(金)に生徒会本部主催の企画「シャッフル清掃」を実施しました。普段は学年ごとに分かれて実施している清掃を、1年生～3年生混合の4～5人チームを作り清掃を行いました。シャッフル清掃は「全学年の交流を深める」「清掃に一生懸命に取り組む態度を育てる」そして「生徒の自治の力を育てる」を目的に実施しました。学年混合のチームで掃除を行ったことにより、緊張感をもって掃除に取り組んでいたように感じました。また、3年生はチームのリーダーとしての意識をもち、自分が一生懸命に取り組むことに加えて、1・2年生への指示出しなども積極的に行っていました。2学期は運動会や一中祭などの行事が目白押しですが、全校行事へとつながる良い取組になったと感じます。



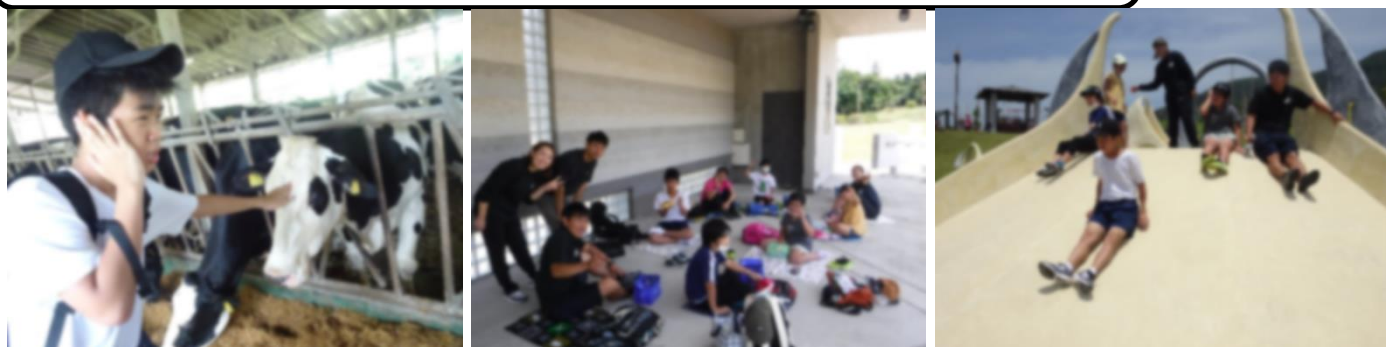
## くろしお学級のコーナー

### くろしおカフェ大成功！

6月30日（金）にくろしおカフェがオープンしました。多くの先生に来ていただきました。



7月7日（金）に三原学級と遠足に行きました。  
みんなで一緒にお弁当を食べ、今まで以上に仲良くなりました。



7月8日（土）に農園で育てた野菜を使ってカレーを作りました。  
保護者の方に手伝っていただき、おいしいカレーが完成しました！



校内水泳記録会に向け、  
練習を頑張っています！



## 一中の夏休み中の生徒指導（保護者・地域の皆様へお願い）

第一中学校では生徒が安全で有意義な夏休みを過ごすために指導を行いました。その時に使用した資料の抜粋を以下にご紹介いたします。一中生を地域で見守ってくださいますようお願いいたします。

### 1 規則正しい生活を

- (1) 計画表や日課表をつくり、毎日の生活のリズムを大きく崩さないようにしよう。
- (2) 計画を立てるときは、自分に合った実行可能なものにするとともに、夏休み全体を通しての大きな目標を決めよう。そして達成するための小さな目標（スモールステップ）を作り、達成できる努力をしよう。
- (3) 毎日の生活のけじめを付けるために、日記や学習記録などを付けて一日を振り返り、翌日以後の生活や学習に生かせるよう工夫してみよう。

### 2 健康管理

- (1) 夏は睡眠不足や冷たいものの摂りすぎなどから、体調を崩しやすい季節です。健康管理には十分注意しよう。また、暑さに負けず、部活、水泳教室等で身体を鍛えよう。
- (2) 1学期の健康診断で「要治療」とされた人は、夏休み中に治療を済ませておこう。
- (3) 夏休みに大きなけがや病気をした場合は、学校・担任に連絡をしてください。また、健康状況について「夏休みの健康調査」に記入しよう。

### 3 学習

- (1) 学習計画を立て、復習や夏休みの課題、2学期の予習に取り組もう。
- (2) おくれている教科や不得意な教科を克服するのによい機会。重点的に計画に組み入れて学習しよう。
- (3) 夏休みという特色を生かして、他の時期にはできない自由研究や創作活動などに取り組んでみよう。自分のペースでじっくりやるチャンスです。

### 4 事故の防止

- (1) 交通規則を守り、事故に合わないよう、また起こさないように気を付けよう。  
特に自転車の二人乗り・無灯火・右側通行・バイクの無免許運転等は絶対にしないこと。公道でのスケートボード、キックボードは禁止です。
- (2) 花火を分解したり、火薬を使うような危険な遊びはやめよう。
- (3) 校外のプールや海などに行くときは、その安全性を十分確かめ、危険区域では泳がないようにしよう。
- (4) 万引き・タバコ・飲酒などは、たとえ誘われてもきっぱり断ろう。
- (5) 不健全な盛り場や人通りの少ない場所には行かないようにしよう。また、不審者を見かけたり、危険を感じたときは、近くの人などに助けを求めよう。また、家庭・学校・警察にも連絡をとろう。
- (6) 盆踊り・その他夜間の外出は保護者同伴で、午後9時までに帰宅しよう。
- (7) 中学生のアルバイトは禁止されています。いろいろなトラブルの原因ともなるのでやらないようにしよう。
- (8) 携帯電話やインターネットを利用する際に、アダルトサイト画像、出会い系・薬物・自殺などのサイト、暴力残虐画像や有害サイトも増加し、事件事故に巻き込まれるケースが多発しています。犯罪やトラブルに巻き込まれないよう十分に注意しよう。また、メールやLINEを使用して相手を傷つけるようなトラブルも増えています。利用の仕方に十分配慮しましょう。

### 5 外出・旅行

- (1) 外出するときは、必ず保護者に目的地・同行者・帰宅時間を知らせておき、18:00までには帰宅するようにしよう。
- (2) 服装・態度などは中学生らしくきちんとし、生徒手帳も携帯しよう。
- (3) 生徒だけの外泊はやめよう。（やむを得ない場合は保護者の許可を必ず得てから行う）
- (4) 宿泊をとまなう旅行には中学生だけで行かない。海・山・サイクリングなどは、保護者の許可を受けよう。しっかりした計画を立てよう。

## 学校閉庁日のお知らせ

**8月14日から8月18日まで学校閉庁日となります。**

学校へのご連絡につきましては、

**大島町教育委員会(2-1453)までお願いいたします。**

## スポーツリズムトレーニング

6月29日(木)の放課後と6月30日(金)の1~3校時に、インストラクターの山本由枝様をお呼びして「スポーツリズムトレーニング」を行いました。「スポーツリズムトレーニング」とは、リズムに合わせてジャンプなどの運動を行い、リズム感を習得し、楽しみながら心身の健全発達、健康の維持増進を図るトレーニングで、運動機能と体力の向上はもちろん各種競技にも効果があります。床に敷いたラインを踏まないように跳んだり、ボールを使ったりと様々な種類のトレーニングをやっていただきました。トレーニング後に立ち幅跳びの記録を測定すると、8割近くの生徒が記録を向上させていました。また、野球部のある生徒は、リズムトレーニングの後の部活動でバッティング練習を行うと、タイミングの取り方が激変し打撃が一気に向上したという例も見られました。今後の授業や部活動に積極的に取り入れていく予定です。



### 8・9月行事予定

8月3日(木) 町水泳記録会

8月4日(金) 町水泳予備日

8月14日(月)~8月18日(金) 学校閉庁日

8月25日(金)~8月31日(木) 夏季学習教室

8月31日(木) 夏季休業日(終)

9月1日(金) 始業式・避難訓練・激励会

9月2日(土) 中体連秋季大会

9月3日(日) 中体連秋季大会(予備日)

9月4日(月) くろしお校外学習

9月5日(火) 健康ガイダンス

9月6日(水) 運動会活動(始) 団会議・結団式

9月8日(金) 生徒会役員選挙

9月18日(月祝) PTA 草刈り

9月21日(木) 専門委員会・生徒協議会

9月27日(水) 運動会予行

9月29日(金) 前日準備

9月30日(土) 運動会

SC来校日: 8月31日、9月8日、15日、22日、29日

心理士来校日: 9月11日